

# 新潟大学医歯学総合病院 令和3年度歯科医師臨床研修プログラム

## 1. 研修プログラムの名称：

新潟大学医歯学総合病院 歯科医師臨床研修プログラムA  
 新潟大学医歯学総合病院 歯科医師臨床研修プログラムB

## 2. 研修期間：

1年（令和3年4月～令和4年3月）

## 3. 研修理念：

「信頼される歯科医師」を育成する。

## 4. 基本方針：

診療参加・実践型の臨床研修を通じて生涯学習につながる問題解決、自己評価の姿勢を涵養する。

## 5. 研修プログラムの概要：

新潟大学医歯学総合病院での歯科医師臨床研修は、新潟大学歯学部のご伝統である「人間性・創造性豊かな歯科医師の養成」という基本理念に基づき医療面接から診断、一口腔単位での治療計画立案、基本的診療、ならびに口腔健康管理に至るまでの過程に対して、全人的かつ科学的な観点で対応できる質の高い歯科医師の養成を目指しており、歯科総合診療部、各専門診療科、協力型臨床研修施設の指導医が密接に連携して研修プログラムを運営する。本院では研修歯科医を担当医と位置づけて行う臨床研修を原則としており、極めて高い教育実践効果が評価されている。

## 6. 研修到達目標：

### 一般目標

本研修プログラムは、将来の日本の歯科医療をリードし、社会に貢献できる、人間性豊かな人材を育成するために以下を目標とする。

- 1) 日常歯科診療で遭遇する病気や病態に科学的根拠に基づいて対応できるように、基本的な診療知識および技能を習得する。
- 2) 全人的な診療を実践できるように、歯科医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアにおける基本的な診療態度を習得する。

### 行動目標

- 1) 患者様と良好な人間関係を構築できる。
- 2) 患者様中心の視点で医療面接および診療ができる。
- 3) 医療情報に基づいた総合治療計画を立案できる。
- 4) 基本的かつ高頻度の歯科治療が確実にできる。
- 5) 高頻度の応急処置が確実にできる。
- 6) 診療時の偶発事故に適切に対応できる。
- 7) 口腔健康管理およびその助言が適切にできる。
- 8) 歯科医師の社会的役割を認識して実践できる。
- 9) 全身状態管理の重要性を説明できる。

## 7. 研修プログラムの特色：

### プログラムA：

本院歯科総合診療部にてプライマリ・ケア主体の総合的歯科診療を集中的に実践することで、基本的診療能力の早期習得を目指すとともに高次の歯科医療との連携に関する研修もできるよう企画されている。

### プログラムB：

本院歯科専門診療科並びに地域中核病院・地域診療施設との連携の下に、あらゆる社会的ニーズに対応できるように、基本的診療能力を習得し、且つ多方面にわたる歯科医療を研修できるよう企画されている。

## 8. 研修プログラムの研修方法、期間、募集定員数：

プログラム名	研修方法	研修期間	定員（計50名）
歯科医師臨床研修プログラムA	単独型研修方式	新潟大学医歯学総合病院12ヶ月	32名
歯科医師臨床研修プログラムB	複合型研修方式	新潟大学医歯学総合病院6ヶ月、協力型臨床研修施設6ヶ月	18名

注）マッチングの結果および協力型臨床研修施設の受入れ数によって、各プログラムの募集定員や期間が変動することがある。

## 9. 研修プログラムスケジュール：

プログラム	令和3年										令和4年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
A	新潟大学医歯学総合病院 (歯科総合診療部)												
B コース1	新潟大学医歯学総合病院 (専門診療科)						協力型臨床研修施設						
B コース2	協力型臨床研修施設						新潟大学医歯学総合病院 (専門診療科)						

※ 全プログラム共通の研修として、新潟大学医歯学総合病院研修中に病棟研修、顎口腔インプラント研修、摂食嚥下リハビリテーション研修、医療連携口腔管理研修、研修協力施設（保健所）研修などがある。

## 10. 研修施設：

### 1) 単独型ならびに管理型臨床研修施設：新潟大学医歯学総合病院 歯科

- (1) 所在地：〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町754番地
- (2) 臨床研修施設長：富田 善彦 病院長
- (3) 研修実施責任者：小林 正治 副病院長
- (4) プログラム責任者：  
 プログラムA：藤井 規孝 歯科総合診療部 部長 副責任者 奥村 暢旦 歯科総合診療部 講師  
 プログラムB：石崎 裕子 歯科総合診療部 講師

### 2) 協力型臨床研修施設：35施設（令和3年度予定）

番号	施設名称	研修実施責任者	指導歯科医
1	一般財団法人温知会 会津中央病院	宮島 久	宮島 久、竹内 聡史、濱田 智宏、吉開 義弘、大溝 裕史、遠藤 克哉、師田 智
2	医療法人社団光の道 公園通り歯科医院	仲井 雄一	仲井 雄一、白木 紀久
3	医療法人尚歯会 いさはい歯科医院	砂歪 清	砂歪 清、佐藤 亨至、倉林 尚美、宮崎 伶絵
4	医療法人春光会 岩本歯科医院	岩本 宗春	岩本 宗春
5	医療法人西尾会 西尾歯科	西尾 拓郎	西尾 拓郎、中村 佑
6	医療法人武井会 たけい歯科クリニック	武井 賢郎	武井 賢郎、武井 敬子
7	医療法人社団 五十嵐歯科医院	五十嵐 靖	五十嵐 靖
8	利根保健生活協同組合 利根歯科診療所	中澤 桂一郎	中澤 桂一郎、金子 貴紀、飯島 康弘
9	医療法人社団神風会 ライオン歯科	今井 由貴	今井 由貴、長谷川 勝紀
10	長岡赤十字病院	飯田 明彦	飯田 明彦、小林 孝憲
11	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟労災病院	武藤 祐一	武藤 祐一、松井 宏、高山 裕司
12	医療法人社団泉生会 都ホテル東京 宮本歯科クリニック	宮本 文雄	宮本 文雄、石田 かほる
13	医療法人まこと会 ひやま歯科クリニック	楢山 成寿	楢山 成寿

14	医療法人清歯会 浅井歯科医院	浅井 計征	浅井 計征, 松村 貴史
15	医療法人翔己会 かい歯科	甲斐 智之	甲斐 智之, 赤井 慶子, 木村 圭
16	医療法人清歯会 洛西口浅井歯科医院	浅井 拓	浅井 拓
17	医療法人社団 もり歯科医院	森 啓一	森 啓一, 佐藤 嘉章
18	まつぎき歯科クリニック	松崎 哲	松崎 哲, 松崎 文子
19	はるな生協歯科診療所	間々田 勝則	間々田 勝則, 古市 明弘, 神村 章平
20	今井歯科EAST	今井 恭一郎	今井 恭一郎, 堀内 麻那, 富田 裕理
21	医療法人社団 ニイガタクリニック	成澤 祥子	成澤 祥子, 山田 裕一
22	富山県立中央病院	小島 拓	小島 拓
23	社会医療法人仁愛会 新潟中央病院	鶴巻 浩	鶴巻 浩
24	新潟市民病院	高田 佳之	高田 佳之
25	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院	加納 浩之	加納 浩之, 加藤 祐介
26	医療法人太平洋会 すぎうら歯科クリニック	杉浦 洋平	杉浦 洋平, 大野 浩之
27	深津歯科医院	鳥巢 隆弘	鳥巢 隆弘
28	医療法人社団白浩会 エス歯科クリニック	白井 崇浩	白井 崇浩, 首藤 真一
29	医療法人社団仁愛会 堀井スマイル歯科	堀井 信哉	堀井 信哉
30	医療法人志結会 おざき歯科医院	尾崎 亘弘	尾崎 亘弘
31	医療法人社団高歯会 ほんまる歯科医院	東 高士	東 高士
32	医療法人仁支会 すずらん歯科矯正歯科	座馬 良明	座馬 良明
33	医療法人社団晴虹会 オハナ歯科クリニック	岡田 浩	岡田 浩
34	医療法人啓至会 武蔵野わかば歯科	星野 真	星野 真
35	医療法人恵仁会 関根歯科医院	関根 聡	関根 聡

### 3) 研修協力施設: 11施設 (令和3年度予定)

番号	施設名称	研修実施責任者	指導実施者
1	新潟県三条保健所	武藤 謙介	武藤 謙介
2	新潟県新発田保健所	阿部 俊幸	阿部 俊幸
3	新潟県上越保健所	山崎 理	山崎 理
4	新潟県長岡保健所	園田 裕久	園田 裕久
5	新潟市保健所	高橋 善樹	高橋 善樹
6	特別養護老人ホーム にいがた恵風園	吉田 哲之	吉田 哲之
7	老人保健施設 第二にいがた園	大野 みち子	大野 みち子
8	特別養護老人ホーム おもと園	小池 広志	小池 広志
9	特別養護老人ホーム にいがた新生園	織田 政徳	織田 政徳
10	介護老人保健施設 あすか	宮島 嘉道	宮島 嘉道
11	特別養護老人ホーム 関屋おもと園	能田 靖弘	能田 靖弘

## 1.1. 研修内容:

### 1) 単独型ならびに管理型臨床研修施設: 新潟大学医歯学総合病院 歯科

#### プログラムA 歯科総合診療部

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 基本的診察 (1) 初診患者の医療面接 (2) 再診患者の医療面接 (3) 全身の診察 (4) 口腔外診察 (5) 口腔内診察	40例 200例 40例 140例 240例	予診での医療面接と診察 担当患者の診察	(1)-①~⑨ (2)-①	(1)-①
2) 基本的検査・診断 (1) う蝕検査 (2) 歯髄検査・診断 (3) 歯周組織検査・診断 (4) 歯列・咬合検査 (研究用模型作製) (5) 画像検査・診断	20例 3例 40例 10例 50例	診療室での診療 抄読会・症例検討会への参加 指導医との検討	(2)-②~④	(3)-②, ③
3) 総合診療計画 (1) 一口腔単位の治療計画の立案 (2) 症例検討会での報告 (3) 治療方法の確認 (4) 患者への説明と同意取得	20例 1例 18回 20例	診療室での診療 指導医との検討 研修歯科医セミナー受講 症例検討会での発表	(1)-①, ⑥~⑨ (2)-⑤~⑦	(1)-②~④ (4)-③, ④
4) 基本的治療 * (1) レジン修復 (2) 歯内治療 (3) 歯周基本治療 (4) 歯冠修復・補綴治療 (5) 義歯新製 (6) 義歯修理・裏装 (7) 口腔外科処置 (抜歯, 消炎処置) (8) 応急処置 (急患対応) (9) メインテナンス診療	10例 5例 5例 5例 4例 7例 5例 5例 15例	診療室での診療	(3)-①, ② (4)-①~③ (5)-①~⑤ (6)-①, ②	(1)-①~⑥ (2)-①~⑤ (3)-①~③ (4)-①~④ (5)-①~④ (6)-④
5) 地域口腔保健活動 (1) 集団歯科検診 (学校・保健所) への参加 (2) 老人介護施設への訪問診療参加	1回 1回	集団検診への参加・介助 訪問施設での診療・介助	(6)-①~③	(6)-①~④
6) 医療記録・管理 (1) 診療録の記録・管理 (2) 処方箋の記載・交付 (3) 歯科技工指示書の作成 (4) 経営管理 (保険レセプトの修正) (5) リコールシステム運用	200例 20例 10例 20例 15例	診療室での診療カルテ記載 指導医との検討 リコールハガキの運用	(3)-③, ④	(5)-①~③ (5)-①, ②
7) 医療安全と感染予防 (1) 医療安全対策 (2) 感染予防対策	240例 240例	診療室での診療 院内講習会・テスト受講 訪問施設での診療・介助	(1)-②~⑧ (2)-①~⑥ (3)-③, ④ (6)-②	(1)-①~⑥ (2)-①~⑤ (5)-①~④ (6)-②~④

\* 基本的治療で示した症例数は診療回数ではなく、当該治療の初回から終了までの一連の診療を単位としています。

プログラムB 予防歯科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 成人口腔健康管理 医療面接、口腔内診査・清掃 口腔保健指導、PMTC、フッ化物応用など	15 例	外来での診療	(1)-①～⑨ (3)-①～④	(3)-①～③
2) 小児口腔健康管理 医療面接、口腔内診査・清掃 口腔保健指導、シーラント、フッ化物応用	10 例	外来での診療	(1)-①～⑨ (3)-①～④	(3)-①～③ (4)-①～④
3) 口臭の診断・治療	5 例	外来での診療		(4)-①～④
4) 集団検診 保育園、学校、市町村での集団検診	3 例	各種集団検診への参加	(6)-①～③	

プログラムB 歯の診療科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) マイクロエンドドンティックス (1) 症例選択法 (2) 顕微鏡操作法 (3) 非外科的歯内療法 (4) 根管内異物除去 (5) 外科的歯内療法	5 例 5 例 3 例 1 例	セミナー、示説 外来での診療・介助 示説、外来での診療・介助 模型実習、外来での診療・介助 セミナー、示説、外来で診療・介助	(5)-②	(4)-①、②
2) Ni-Tiロータリーファイルでの根管形成 (1) 症例選択法 (2) 基本的操作法 (3) 臨床応用	5 例	セミナー、示説 示説、模型実習 外来での診療・介助	(5)-②	(4)-①、②
3) 垂直加圧根管充填法 (1) 症例選択法 (2) 基本的操作法 (3) 臨床応用	2 例	セミナー、示説 示説、模型実習 外来での診療・介助	(5)-②	(4)-①、②
4) CAD/CAMセラミック修復 (1) 症例選択法 (2) 支台歯形成・修復物製作 (3) 臨床応用	2 例	セミナー、示説 示説、模型実習 外来での診療・介助	(5)-①、⑤	(4)-①、②
5) ラミネートベニヤ修復 (1) 症例選択法 (2) 支台歯形成・修復物製作 (3) 臨床応用	2 例	セミナー、示説 示説、模型実習 外来での診療・介助		(4)-①、②
6) 歯の漂白 (1) 症例選択法 (2) 臨床応用	2 例	セミナー、示説 外来での診療・介助		(4)-①、②
7) 象牙質知覚過敏症に対する処置 (薬物塗布、象牙質被覆) (1) 症例選択法 (2) 臨床応用	5 例	セミナー、示説 外来での診療・介助		

プログラムB 歯周病科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 医療面接	10 例	歯周病科新患者の面接	(1)-①～⑨ (2)-①	(1)-① (4)-①
1) 歯周病の検査・診断 (1) 歯周病検査、細菌・血清学的検査 (2) 治療計画立案 (3) 症例検討会での報告	5 例 5 例 1 例	外来での診療・介助 治療計画シート記入と指導医との検討 症例検討会における発表	(1)-①～⑨ (2)-①～⑦ (6)-①	(4)-①～④
2) 歯周基本治療 (1) スケーリング・ルートプレーニング (2) 暫間固定、咬合調整等	5 例 2 例	外来での診療・介助 外来での診療・介助	(3)-①～④ (4)-③ (5)-③ (6)-①	(2)-⑤
3) 歯周外科治療 (1) 組織付着療法 (2) 歯周組織再生療法 骨移植術、GTR法、エムドゲイン、リグロス (3) 根分岐部病変の治療	3 例 1 例 1 例 1 例	歯周外科室で執刀・介助 歯周外科室で介助 歯周外科室で介助 歯周外科室で執刀・介助	(6)-①、②	(2)-⑤ (4)-①～④
4) 口腔機能回復(修復・補綴)治療 歯周補綴・インプラント	3 例	外来での診療・介助	(5)-⑤ (6)-①	(4)-①～④
5) サポートリベリオドンタルセラピー PMTC、LDDS等	5 例	外来での診療・介助	(3)-①～④ (6)-①	(3)-①～③
6) レーザー治療 インプラント周囲炎、メラニン除去	2 例	外来での診療・介助	(2)-⑤	(4)-①～④
7) 歯周病と全身疾患との関連 心疾患、糖尿病、リウマチ疾患等	5 例	外来での診療・介助 抄読会への参加	(1)-①～⑨	(1)-③ (4)-①～④

プログラムB 義歯診療科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 全部床義歯による治療 診査からメンテナンスまで BPS義歯を含む	3 例	外来見学、診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①～⑨ (2)-①～⑦ (5)-⑤ (6)-①	(4)-①、②、④
2) 部分床義歯による治療 診査・設計からメンテナンスまで	3 例	外来見学、診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①～⑨ (2)-①～⑦ (5)-⑤ (6)-①	(4)-①、②、④

3) 金属床義歯による治療 診査・設計からメンテナンスまで	1 例	外来見学, 診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦ (5)-⑤ (6)-①	(4)-①, ②, ④
4) 義歯管理 (1) リライン (直接法・間接法) (2) 義歯修理 (直接法・間接法) (3) 咬合面再構成	2 例	外来見学, 診療介助 指導下での診療 セミナー	(4)-③ (5)-⑤ (6)-①	(4)-①, ②, ④
5) 顎補綴治療	3 例	外来見学, 診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦ (5)-⑤ (6)-①, ②	(3)-①~③ (4)-①, ②, ④
6) 摂食嚥下障害患者の補綴治療	3 例	外来見学, 診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦ (5)-⑤ (6)-①, ②	(4)-①, ②, ④
7) クラウンブリッジによる歯冠修復、欠損補綴 診査から製作、メンテナンスまで	3 例	外来見学, 診療介助 指導下での診療 セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦ (4)-③ (5)-①, ⑤ (6)-①	(4)-①, ②, ④
8) 咀嚼能力評価	症例数は定めない	ワークショップ セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦	(4)-①, ②, ④
9) 嚥下機能評価	症例数は定めない	ワークショップ セミナー	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦	(4)-①, ②, ④
10) 訪問診療における義歯治療	症例数は定めない	訪問先での見学, 診療介助	(6)-②, ③	(6)-①~④

**プログラムB 冠・ブリッジ診療科**

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 補綴歯科治療診断 (1) 口腔内診察 (2) 検査 (咬合, 研究用模型) (3) 症例の難易度分析 (4) 治療計画立案	10 例	症例検討会への参加 セミナー 外来での診療 (自験)・介助	(2)-①~⑦	(4)-①~④
2) 補綴前処置 (1) Extrusion (2) Crown Lengthning Procedureなど	1 例	セミナー 外来での診療 (自験)・介助	(3)-②~④	(4)-①, ②, ④
3) 一歯単位の歯冠修復 (1) 支台築造 (メタルコア, ファイバーポストレジンコアの適応) (2) 支台歯形成 (形態の特徴と形成法) (3) プロヴィジナルレストレーション (4) 印象採得から合着までの要点 (5) 審美的歯冠修復 (ラミネートベニア, オールセラミックス)	5 例	セミナー 外来での診療 (自験)・介助	(2)-①~⑥ (3)-②~④ (5)-⑤	(4)-①~④
4) ブリッジ, 多数歯にわたる歯冠修復 (1) プロヴィジナルレストレーションと 歯周組織管理 (2) 咬合様式の分析 (3) 半調節性咬合器の選択 (4) 接着性ブリッジ, 可撤性ブリッジ	2 例	セミナー 外来での診療 (自験)・介助	(2)-①~⑦ (3)-②~④ (5)-⑤	(4)-①~④
5) インプラント補綴治療 (1) 診察, 診断, 一口腔単位での治療計画立案 (2) インプラント埋入手術見学 (3) 上部構造製作, 装着 (4) メンテナンス	3 例	外来における診療介助 症例検討会への参加	(2)-①~⑦ (5)-⑤	(4)-①~④
6) 難症例有床義歯補綴治療 (1) 診察, 診断, 治療計画立案 (2) 補綴歯科治療とメンテナンス	1 例	セミナー 外来での診療 (自験)・介助	(2)-①~⑦ (3)-②~④ (4)-③ (5)-⑤	(4)-①~④
7) 高齢者の補綴歯科治療 (1) 診察, 診断, 治療計画立案 (2) 補綴歯科治療 (3) メンテナンスと口腔ケア	2 例	セミナー 外来での診療・介助	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦ (3)-②~④ (5)-⑤	(1)-①~③ (3)-①~③ (4)-①~④ (6)-②, ④
8) 金属アレルギーの治療 (1) 診察, 診断 (2) 治療計画立案	1 例	セミナー 外来における診療介助	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦	(4)-①~④

**プログラムB 口腔再建外科, 顎顔面口腔外科**

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 抜歯 (1) 普通抜歯 (2) 埋伏智歯抜歯 (縫合を含む)	(1) 10 例 (2) 5 例	外来での介助・診療	(3)-②~④ (5)-④	(4)-①~④
2) 軟組織疾患の診断・治療	6 例	外来での介助・診療 抄読会・症例検討会への参加		(4)-①~④
3) 硬組織疾患の診断・治療	6 例	外来での介助・診療 抄読会・症例検討会への参加		(4)-①~④
4) 唇顎口蓋裂に対する診断・治療	1 例	外来での介助・診療 抄読会・症例検討会への参加		(4)-①~④
5) 顎変形症に対する診断・治療	2 例	外来での介助・診療 抄読会・症例検討会への参加		(4)-①~④

\* 口腔外科は, 「口腔再建外科」または「顎顔面口腔外科」のいずれかをお選びください。

プログラムB 小児歯科・障がい者歯科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 医療面接 小児と保護者への接遇・対応など	5 例	外来での医療面接・診査	(1)-①~⑨	
2) 治療計画立案 (1) う蝕治療 (2) 咬合誘導	10 例 3 例	セミナー・症例検討会への参加	(2)-①~⑦	(4)-①~④
3) 小児への予防基本技術 (1) 口腔衛生指導：3歳以下 (2) 口腔衛生指導：幼稚園児 (3) 口腔衛生指導：学童 (4) 予防填塞 (5) フッ化物局所応用	5 例 5 例 5 例 10 例 10 例	外来でのう蝕予防指導・処置 (小児と保護者を対象) 口腔衛生指導(3歳以下)は介助を含む)	(3)-①~④	(3)-①~③ (4)-①~④
4) 小児の治療基本技術 (1) 小児のう蝕治療 (2) 乳歯の除去 (3) 保障装置の製作と装着	20 例 3 例 3 例	外来での診査・介助	(3)-②~④ (4)-①~③ (5)-①~⑤	(2)-①~⑤ (3)-①~③ (4)-①~④
5) その他 (1) 外傷歯の治療 (2) 咬合誘導 (3) 外来小手術(過剰歯・小帯・嚢胞等) (4) 全身麻酔下歯科治療 (5) 心身障害児者への対応	3 例 3 例 3 例 3 例 5 例	外来・オペ室での診査・介助	(3)-②~④ (4)-①~③ (6)-①~③	(1)-①~⑥ (2)-①~⑤ (3)-①~③ (6)-④

プログラムB 矯正歯科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 模型製作	5 例	模型実習	(3)-③~④	(4)-①~④
2) 機能検査(顎運動・筋電図など)	1 例	外来での介助・見学		(4)-①~④
3) 頭部X線規格写真撮影	5 例	撮影方法、原理の修得		(4)-①~④
4) セファログラム (1) トレース (2) 分析・診断 (3) 治療計画	5 例 (1) 5 例 (2) 5 例 (3) 5 例	外来での介助・見学 症例検討会への参加 基礎実習への参加(コース2のみ)	(2)-①~⑦	(4)-①~④
5) 予後とメインテナンス	5 例	外来での介助・見学、症例検討会 およびケースセミナーへの参加		(3)-①~③

プログラムB 口腔リハビリテーション科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 摂食嚥下機能障害への対応 (1) 診査・機能評価 (2) 治療計画の立案 (3) 摂食機能障害の治療 (4) 症例報告	5 例 5 例 5 例 1 例	セミナー参加、専門外来での見学 症例検討会への参加 専門外来での見学・診療 症例検討会における発表	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦	(4)-①~④ (5)-③
2) 口腔乾燥症・味覚障害への対応 (1) 診査・検査 (2) 診断と治療計画の立案 (3) 口腔乾燥・味覚障害の治療	5 例 5 例 5 例	専門外来での見学・診療 セミナー参加、症例検討会参加 専門外来での見学・診療	(3)-①~④	(4)-①~④
3) 口腔機能低下症の診断と対応 (1) 診査・機能評価 (2) 機能低下症への対応	5 例 5 例	専門外来、検査室での評価 口腔機能低下症の管理と対応	(1)-①~⑨ (2)-①~⑦	(4)-①~④
4) 地域医療 訪問診療と口腔ケア	8 例	病棟・訪問施設での見学・診療	(6)-①~③	(6)-②~④

プログラムB 歯科放射線科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 画像検査の読影 (1) 一般撮影 (2) 特殊撮影 (3) 症例検討(含・読影症例)	20 例 10 例 30 回	専門医の指導 専門医の指導 症例検討会へ参加	(2)-②~⑤, ⑦	(3)-②~③ (4)-①~④ (5)-②~③
2) 画像診断に関する知識の習得	12 回 6 回	輪読会・抄読会への参加 輪読会・抄読会での発表	(2)-②~⑤, ⑦	(3)-②~③ (4)-①~④ (5)-②~③
3) 口内法撮影	6 例	撮影法の基礎の確認	(2)-②~④	(3)-②~③ (4)-①~④ (5)-②~③

プログラムB 歯科麻酔科

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 周術期全身管理 (1) 全身麻酔 (2) 精神鎮静法	2 例 2 例	中央施術室における麻酔研修 症例担当と麻酔補助 症例担当と麻酔補助	(1)-①~④*	(1)-①~④
2) ペインクリニック (1) ペインクリニック (2) 診断と治療計画	5 例 5 例	専門外来での見学 セミナー参加・症例検討会参加		(1)-②~④
3) 救急処置法 (1) 心肺蘇生法の習得 (2) 除細動器の使用法の習得	5 例	院内BLS講習会への参加	(6)-①~③	(1)-①~⑥

\* 基本習熟コースの症例経験は1~2例、基本習得コースは5例以上を想定しています。

全プログラム対象 医歯学総合病院 病棟・全身管理研修 3週間

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 入院病歴の聴取	1 例	病棟での介助・診療 診療録の作成	(1)-①~③	(4)-①
2) 入院患者の診断・治療方針立案	1 例	症例検討会での症例呈示	(2)-③~⑤	(4)-②~④
3) 患者への説明と同意	1 例	患者への説明に同席	(1)-④~⑨ (2)-⑤, ⑥	(4)-②~④
4) 手術	1 例	手術への参加		(2)-④, ⑤
5) 周術期管理	1 例	周術期管理の介助		(1)-①~③
6) 術後管理	1 例	手術後患者の処置 処方箋及び指示書作成の介助 診療録への記載	(3)-②~④	(4)-③

\* 高齢者、有病者の対応を含めた全身管理研修も病棟研修期間中に実施の予定です。

全プログラム対象 顎口腔インプラント治療研修 1週間

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 顎関節症初診患者の診査・診断	1 例	顎関節症新患のDC/TMDの診査・診断	(2)-③~⑤, ⑦	(4)-①~④
2) 顎関節症の初期治療演習	1 例	スプリントの製作・調整の相互実習 理学療法相互実習, 薬物療法講義	(2)-③~⑤, ⑦	(4)-①~④
3) 顎関節症例報告	1 例	顎関節症例検討会でのプレゼンテーション	(3)-③~④	(3)-②, ③
4) インプラント希望初診患者の面接	1 例	インプラント希望患者の医療面接の補助	(1)-①~⑧ (2)-①, ②	(4)-①~④
5) PCシミュレーションの実習	1 例	インプラント埋入シミュレーション演習		(4)-①~④
6) 手術, 補綴の助手	1 例	インプラントの手術, 補綴治療の補助		(4)-①~④
7) インプラント症例報告	1 例	インプラント症例検討会での プレゼンテーション	(3)-③~④	(3)-②, ③

全プログラム対象 摂食嚥下リハビリテーション研修 1週間

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 初診時の医療情報収集	1 例	医療面接	(1)-①~⑨ (2)-①, ②	(1)-① (2)-④, ⑤ (4)-①
2) 診療方針 患者説明, 依頼科へコンサルト	1 例	予診担当医, 各専門診療科との検討	(1)-③, ④ (2)-③, ④	(4)-③, ④
3) 治療	1 例	各専門診療科診療・介助 嚥下内視鏡の基本的操作	(3)-①, ③, ④	(3)-②, ③ (4)-①~④
4) 依頼科・スタッフとの連絡	1 例	送り・指示 (指導医と共に)	(6)-①, ②	(5)-② (6)-①~④
5) 退院・転院後方針・コンサルト	1 例	情報提供書, その他必要資料の作成 方針説明 (指導医と共に)	(1)-⑤, ⑧ (6)-③	(6)-①~④
6) 地域医療 口腔ケア	1 例	訪問施設での口腔ケアの見学・診療	(6)-②, ③	

全プログラム対象 医療連携口腔管理研修 1週間

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 医科入院予定患者への初期対応	1 例	情報提供書の確認・病歴聴取・現症採取補助 X線オーダー, 書類作成補助など	(1)-①~⑧ (2)-①, ②	(4)-①~④ (5)-②, (6)-④
2) 患者の全身状態の把握	1 例	バイタルサイン, 服用薬, 医科疾患の 確認, 担当医師との相談に関する補助	(6)-②	(1)-①~④
3) 医科入院患者の口腔内診査	1 例	担当歯科医, 歯科衛生士と協力しながら 口腔内の状況を確認する	(2)-②, ③, ④ (6)-①, ②	(2)-①, ②, ④, ⑤
4) 医科入院患者の口腔ケア・歯科治療	数 例	歯科外来での見学・介助, 基本的歯科 治療の実践	(3)-①~④, (4)-①~③, (6)-①	(4)-①~④
5) 医科入院患者に対する歯科的フォロー	数 例	病室内での歯科処置の見学および介助	(3)-①~④ (4)-①~③	

2) 協力型臨床研修施設:

施設毎に特色のある研修内容で構成される。施設毎の詳細は採用予定者へ説明するが、参考例を下記に示す。

プログラムB

※ 行動目標の番号の詳細は最下段の補足を参照

研修内容	目標症例数	研修方略	行動目標 (習熟コース)	行動目標 (習得コース)
1) 医療面接・診断		診療室での医療面接・診療	(1)-①~⑨	(1)-①
(1) 問診	100 例	診査	(2)-①~④	
(2) 全身の観察	35 例			
(3) 口腔内の診察	100 例			
(4) 口腔外の診察	75 例			
(5) X線検査	50 例			
(6) 概形印象	10 例			
(7) 口腔内・外写真	7 例			

2) 治療全般		診療室での診療	(1)-③~⑧	(1)-②~④
(1) 局所麻酔法	4 7 例	指導歯科医との検討	(2)-⑤~⑦	(3)-①~③
(2) インフォームド・コンセント	7 5 例	症例検討会	(3)-①~④	(4)-③, ④
(3) 高齢者に対する歯科治療	8 例		(6)-①~③	(5)-①, ②
(4) 全身疾患を有する患者に対する歯科治療	1 0 例			
(5) チーム医療	3 5 例			
(6) 診療録	9 0 例			
(7) 処方箋	3 0 例			
(8) 歯科技工指示書	1 4 例			
(9) 保険レセプト	5 0 例			
(10) POSに立脚した治療方針, 治療計画の立案	4 0 例			
(11) 症例の提示, 要約 (カンファレンスでの発表)	2 0 例			
(12) 検査結果, 治療結果の要約と記載	4 0 例			
(13) 治療結果ならびに予後の判定	4 0 例			
3) 基本的治療		診療室での診療	(3)-②	(3)-②, ③
(1) 口外系			(4)-①, ②	
a 抜歯	2 4 例		(5)-④	
b 消炎処置	1 6 例			
c その他口腔外科処置	1 6 例			
(2) 歯周系		診療室での診療	(3)-①, ②	(3)-①~③
a 歯周組織検査	1 5 例		(5)-③	
b 歯周病の治療	4 例			
c 歯周病の予防と管理	2 0 例			
(3) 保存系		診療室での診療	(3)-①, ②	(3)-①~③
a う蝕検査	2 8 例		(4)-①~③	
b 歯髄検査	1 7 例		(5)-①, ②	
c う蝕病巣の除去ならびにそれに対する修復処置	2 0 例			
d 象牙質知覚過敏症に対する処置	9 例			
e 歯髄処置	9 例			
f 根管処置	1 5 例			
g う蝕予防と管理	2 0 例			
(4) 補綴系		診療室での診療	(3)-②	(3)-①~③
a 印象採得	1 6 例		(4)-③	
b 補綴物, 修復物の除去	1 5 例		(5)-⑤	
c 窩洞形成, 支台歯形成	2 0 例			
d 咬合採得	1 4 例			
e 支台築造, 歯冠修復	1 0 例			
f 有床義歯の装着	5 例			

\* 上記研修内容で挙げた項目は、本院協力型臨床研修施設のほとんどで行われている代表的な研修内容を抜粋したものです。それぞれの施設において上記以外に多数の追加項目があります。

### 3) 協力施設： 保健所での地域歯科保健活動（歯科検診・歯科疾患予防活動）を研修予定。

## 12. 研修プログラムの管理運営、指導体制：

### 1) 歯科臨床研修管理委員会

新潟大学医学総合病院院長、研修実施責任者、研修プログラム責任者および副責任者、協力型臨床研修施設実施責任者、研修協力施設責任者、看護部長、診療支援部長、事務部長より構成され、年2回開催し、歯科医師臨床研修プログラムの実施および運営に関わる以下の管理にあたる。

- (1) 臨床研修プログラムの全体的な管理
- (2) 臨床研修歯科医の全体的な管理
- (3) 臨床研修歯科医および指導歯科医の評価
- (4) 採用時における臨床研修希望者の評価
- (5) 臨床研修終了後および中断後の進路相談等の支援
- (6) 臨床研修施設群との連携
- (7) その他の臨床研修に関し必要な事項

### 2) 歯科臨床研修実施専門委員会

研修実施責任者、歯科診療科長、歯科総合診療部部長・副部長より構成され、年4回程度開催し、歯科臨床研修管理委員会での管理項目に関する審議、研修計画・科目の策定・改善、ならびに研修実施に関し必要な事項の審議にあたる。

### 3) 指導歯科医

- (1) 本院での指導歯科医は、新潟大学歯学部教育WSを受講済みの教員で5年以上の臨床経験を有し、一般歯科診療で的確な指導ができ、新潟大学医学総合病院院長が認定した者とする。
- (2) 協力型臨床研修施設における指導歯科医は、7年以上の臨床経験を有し、厚生労働省認定の指導歯科医講習会を受講した者とする。

### 4) 指導体制

指導歯科医は、研修歯科医が診療を行う歯科治療ユニットに向き、現場で指導することを原則とする。ユニットを離れる場合にも、付近に常駐して研修歯科医が行う治療を監督し、患者様および研修歯科医の安全を図る。指導歯科医が不在の場合は、他の指導歯科医がその代理を務めることがある。研修プログラム責任者は、各指導歯科医を通じて各研修歯科医の行動や研修進捗状況を把握し、必要に応じて適切な指導を指導歯科医を通じて行う。

## 13. 研修歯科医の採用、処遇：

### 1) 採用試験

- (1) 日程および会場： 令和2年8月28日（金）、8月29日（土）、新潟大学 歯学部・医学総合病院
- (2) 選考方法：筆記試験、面接、書類選考により採用順位を決定し、マッチング結果に基づいて採用を決定する。

### 2) 処遇（国立大学法人新潟大学非常勤医師就業規則による）

- (1) 身分： 臨床研修歯科医（非常勤）
- (2) 給与： 日給9,100円
- (3) 勤務時間： 1日7時間45分（週38時間45分）
- (4) 時間外勤務： 業務上の必要がある場合には命ずることがある（時間外手当有り）、当直： なし
- (5) 休暇： 採用日から6ヶ月経過後に10日間を付与
- (6) 保険： 健康保険・厚生年金・雇用保険・労働者災害補償保険を適用、歯科医師賠償保険は自己負担での加入義務あり
- (7) 研修歯科医の為の病院内の室の有無： 2室
- (8) 健康管理に関する事項（健康診断の回数等）： 年1回
- (9) 外部の研修活動に関する事項： 学会等の参加について、研修中1回に限り旅費を支援
- (10) 宿舎： なし

14. 研修の評価、修了認定：

1) 研修歯科医の評価と修了認定

研修歯科医の知識・技能・態度に係る修了判定は、オンライン歯科臨床研修評価システム（DEBUT）評価結果、勤務状況、研修日誌等を基に総括評価票（共通研修含）を作成し、その結果を歯科臨床研修実施専門委員会に諮り、歯科臨床研修管理委員会で最終的に判断する。

研修プログラムの修了判定合格者には研修実施責任者より修了証が交付される。

研修未修了と判断された場合、当該研修医は原則として同一プログラムにおいて引き続き不足分に関する追加研修を行うこととする。

なお、この場合、当該研修歯科医の修了判定は追加研修の進捗状況に合わせて適宜行うこととし、修了が認められた時点で研修修了証を交付する。

2) 指導歯科医の評価

DEBUTを用いて指導歯科医による評価を行い、その結果について歯科臨床研修実施専門委員会にて審議し、歯科臨床研修管理委員会で最終評価を行い、必要に応じて再教育等を実施する。

3) 研修プログラムの評価

DEBUTを用いて指導歯科医および研修歯科医による評価を行い、プログラムの妥当性を歯科臨床研修管理委員会で審議し、必要に応じて改善する。

補足：研修内容の行動目標について

（「歯科医師臨床研修必修化に向けた体制整備に関する検討会」報告書、平成16年3月26日、IV 歯科医師臨床研修の到達目標について、より転載）

<b>1 「基本習熟コース」</b>	
(1) 医療面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コミュニケーションスキルを実践する。</li> <li>② 病歴（主訴、現病歴、既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。</li> <li>③ 病歴を正確に記録する。</li> <li>④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。</li> <li>⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。</li> <li>⑥ 患者の自己決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）</li> <li>⑦ 患者のプライバシーを守る。</li> <li>⑧ 患者の心身におけるQOL (Quality Of Life) に配慮する。</li> <li>⑨ 患者教育と治療への動機付けを行う。</li> </ul>
(2) 総合診療計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 適切で十分な医療情報を収集する。</li> <li>② 基本的な診察・検査を実践する。</li> <li>③ 基本的な診察・検査の所見を判断する。</li> <li>④ 得られた情報から診断する。</li> <li>⑤ 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。</li> <li>⑥ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。</li> <li>⑦ 一口腔単位の治療計画を作成する。</li> </ul>
(3) 予防・治療基本技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基本的な予防法の手技を実施する。</li> <li>② 基本的な治療法の手技を実施する。</li> <li>③ 医療記録を適切に作成する。</li> <li>④ 医療記録を適切に管理する。</li> </ul>
(4) 応急処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 疼痛に対する基本的な治療を実践する。</li> <li>② 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。</li> <li>③ 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。</li> </ul>
(5) 高頻度治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>① う蝕の基本的な治療を実践する。</li> <li>② 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。</li> <li>③ 歯周疾患の基本的な治療を実践する。</li> <li>④ 抜歯の基本的な処置を実践する。</li> <li>⑤ 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。</li> </ul>
(6) 医療管理・地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保険診療を実践する。</li> <li>② チーム医療を実践する。</li> <li>③ 地域医療に参画する。</li> </ul>
<b>2 「基本習得コース」</b>	
(1) 救急処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バイタルサインを観察し、異常を評価する。</li> <li>② 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する</li> <li>③ 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。</li> <li>④ 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。</li> <li>⑤ 一次救命処置を実践する。</li> <li>⑥ 二次救命処置の対処法を説明する。</li> </ul>
(2) 医療安全ー感染予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全対策を説明する。</li> <li>② アクシデント及びインシデントを説明する。</li> <li>③ 医療過誤について説明する。</li> <li>④ 院内感染対策（Standard Precautionsを含む。）を説明する。</li> <li>⑤ 院内感染対策を実践する。</li> </ul>
(3) 経過評価管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>① リコールシステムの重要性を説明する。</li> <li>② 治療の結果を評価する。</li> <li>③ 予後を推測する。</li> </ul>
(4) 予防・治療技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門的な分野の情報を収集する。</li> <li>② 専門的な分野を体験する。</li> <li>③ POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。</li> <li>④ EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。</li> </ul>
(5) 医療管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 歯科医療機関の経営管理を説明する。</li> <li>② 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。</li> <li>③ 適切な放射線管理を実践する。</li> <li>④ 医療廃棄物を適切に処理する。</li> </ul>
(6) 地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域歯科保健活動を説明する。</li> <li>② 歯科訪問診療を説明する。</li> <li>③ 歯科訪問診療を体験する。</li> <li>④ 医療連携を説明する。</li> </ul>